

平成 14 年 8 月 21 日
環 境 局

黒須田川流入水路等におけるダイオキシン類対策に かかる調査結果について

1 麻生区における大気環境調査結果について

- ・ 7月2～3日に、大伸建設(株)の廃棄物焼却施設が6月12日に停止したことによる大気環境への影響をみるため、周辺10地点において調査を実施しました。その結果(速報値)が得られましたので報告します。
- ・ 別紙資料1に示すとおり、日吉公園近傍で1.5pg-TEQ/m³、健康とふれあいの広場南側近傍で0.64pg-TEQ/m³、金程小学校及び麻生区総合庁舎で0.61pg-TEQ/m³の4地点が大気環境基準(0.6pg-TEQ/m³)を超えていました。この時の気象条件は、風が弱く、大気が拡散しにくい状況でした。
- ・ 前回(4月18～19日調査実施)2.9pg-TEQ/m³と環境基準を大幅に上回っていた健康とふれあいの広場南側近傍については、環境基準と同程度の濃度に下がっていました。
- ・ なお、この結果も含め、大気ダイオキシン類濃度が環境基準を超過したことについては、麻生区周辺の発生源調査や予測シミュレーション等を行い、専門家会議に諮りながら原因究明を行っていきます。

2 麻生区における土壌環境調査結果について

- ・ 7月3～4日に、大気環境調査地点近傍の14カ所の公園で採取した土壌の調査結果(速報値)が得られました。
- ・ 別紙資料2に示すとおり、0.0058～13pg-TEQ/gであり、全地点で土壌環境基準(1,000pg-TEQ/g)を下回っていました。

3 黒須田川周辺の地下水（井戸水）調査結果について

- ・ 6月26～27日に横浜市と共同で、川崎市域5地点（大伸建設(株)周辺）及び横浜市域1地点（黒須田川流域）において、2回目の地下水調査を実施した結果（速報値）が得られました。
- ・ 別紙資料3のとおり、川崎市域の5地点は、0.045～0.41pg-TEQ/L、横浜市域の1地点は0.058pg-TEQ/Lで、前回同様、全調査地点で水質の環境基準(1pg-TEQ/L)を下回っていました。

問い合わせ先

公害部大気課 (TEL 044-200-2515)
水質課 (TEL 044-200-2519)
化学物質担当 (TEL 044-200-2532)